

秋田高校 同窓会だより Vol.115



AKITA HIGH SCHOOL alumni association news

秋高に女子だけのクラスがあった!

あの頃の思い出 ^{じょ}「女クラとTシャツと私♪」細川 奈々子 氏

交差点 「秋田が変わるきっかけに」佐川 博之 氏

ズームアップ 「3児の母、フルタイムの教員から45歳で弁護士に」生井 みな絵 氏
「農業を『普通の仕事』にしたい」松橋 拓郎 氏

エッセイ 「自ら考え、展開するデジタル化を」北嶋 英樹 氏

6月16日に同窓会総会開催

同窓会入会式

265人が同窓会に入会

令和6年2月29日、卒業式前日に同窓会入会式が母校体育館で行われ、265人が3万人近い同窓会へ新たに入会した。式では同窓生代表として平成13年卒の後藤美菜子さんが進学・就職で母校を巣立つ卒業生の門出を祝い、激励の言葉を述べた。



後藤美菜子さん



勝田明里さん

同窓会の銭谷眞美会長は、「秋田高校は昨年、創立150周年を祝いましたが、これから創立160周年、170周年、そして200周年と歩み続けるでしょう。若い同窓生の皆さんは、同窓生の交流、秋高の教育活動への支援、さらに秋高の歴史、文化、伝統、校風を伝える活動をぜひ継続してください」と歓迎の辞を述べた。

この日、同窓生代表として新会員の入会を祝った後藤美菜子さんは、津田塾大学3年時にミスワールド日本代表に選ばれ世界大会に進出した。卒業後は、秋田テレビに入社、夕方のニュース番組のメインキャスターとして活躍した。現在はフリーアナウンサーとしてナレーションや子どもたちへの絵本の読み聞かせなどの活動を行っている。

銭谷眞美会長

「大学時代は今

しかできないことに挑戦してみたい、そして挑戦するなら世界を相手にしたいと思ってミスワールドに応募しました。思いがけず日本代表に選ばれ世界大会に行き、107カ国のミスたちと1カ月共同生活をしました。その経験から感じたのは世界は狭いし、同年代の女の子は世界中どの国でも変わらないということ。誰かの部屋に集まっては恋愛の話をしました。いろいろなことをよく話をしました。私は自分が田舎が好きだと気づき、秋田に戻って就職しましたが、何か挑戦するならば日本にとどまらないで、どんな世界を相手にしてください」と激励した。

続いて、銭谷会長が新会員代表の勝田明里さんに記念品を贈呈した。勝田さんは、「今年度は新型コロナウイルスによる規制が緩和され、150周年記念行事や式典など歴史的な瞬間に立ち会うことができました」と高校生活振り返り、先輩への敬意を表明し、「この3年間の学びや出会いがこれからの糧となると確信しています」と述べた。

令和6年度総会 ～ 6月16日に開催 ～

- 日 時 令和6年6月16日(日)
- 場 所 秋田キャッスルホテル
秋田市中通1丁目3-5 電話 018-834-1141
- 総 会 午後2時～
議 議 令和5年度 決算・事業報告
令和6年度 予算・事業計画
創立150周年記念事業報告ほか
- 記念講演 午後3時30分～
講師 江口満氏(昭和57卒)
前海上保安大学校長
- 演題 『日本を取り巻く海洋安全保障の実態と海上保安庁の活動』
管区本部長などの要職を経て今春退官されるまでの42年にわたる海上保安官としての現

- 場経験についてお話しいただきます。
- 懇 親 会 午後4時40分～
※会費 7,000円(懇親会出席の方)
同封の払込用紙で事前にお振り込みください。
- 申 込
ご出席の方は、同封のはがきに必要な事項を記入の上、63円切手を貼り、6月6日までに到着するよう同窓会事務局にお送りください。
FAX、Eメールでのお申し込み、同窓会ホームページの「連絡フォーム・行事連絡(総会の出席届け)」もご利用ください。
- 【同窓会事務局】
F A X 018-832-9588
Eメール aki-doso@cna.ne.jp



新生若菜会総会のお知らせ

- 2020年に新たなスタートを切った秋高女子卒業生の会である「若菜会」のお知らせです。
- 日 時 令和6年7月7日(日)
 - 場 所 ホテルメトロポリタン秋田
 - 講 演 11時～(どなたでも視聴可)
テーマ 「ホームホスピスの働き」
～あなたらしくを最期まで～
講師 中村順子さん(同窓会副会長)
 - 総会・懇親会 12時～
※詳しくは同封の返信はがきをご覧ください。

天上天下

TENJO TENGE

人口減と少子化の潮流は同窓生との付き合い方を変えていくのだろうか。私事で恐縮だが、母校の中学校が昨年3月末で閉校した。小中学校の校舍が併設され、小中連携教育を進めやすい環境が整っていたのに、生徒数の減少はいかんともしがたかった。地域の貴重な財産を失ったのに加え、同窓会を中核とした人との絆も細くなってしまう。秋高同窓会だより114号「ZOOM UP」に登場した石井ゆめみさん(平成30卒)は小学生の頃から人口減に強い問題意識を持っていたという奇特な人である。東大で研究テーマに定めて勉学を深め、過疎化が進む地域の展望を見い出そうと社会人になっても追い掛けている。その姿は実に頼もしく、同窓生として素直に応援したい。中央官庁の事務次官や、東京の御三家といわれる中高一貫校の校長を務めるなど、社会の最前線で重責を担ってきた人たちの学生時代を思い浮かべてみても、地味だが、他人が嫌がることにも率先して汗を流す姿が共通項に挙げられる。▼中学の同窓生の後進が絶たれてしまうと、高校、大学の同窓生をより一層大事にしたい、と強く思うようになる。秋高の同窓生が各界で大いに活躍し、社会に貢献する数多くの雄姿に出会いたいものである。

今春の進路状況 東大8人 東北大36人 医学部医学科39人合格

この3月には7クラス265人の3年生が卒業しました。就職希望の1名を除いて全員が大学への進学を希望し、大学入学共通テストは261人が受験しました。国立公立管外大学※の合格者は195人(昨年比+21)でした。

大学別では、東京大学は現役が6人(+2)、過年度卒が2人(±0)で合計8人となり、昨年を2人上回りました。理科類での合格者数が多かった(現役5人、過年度卒2人)のが今年度の特徴です。

他の国立公立大学では、現役と過卒を合わせて、北海道大学6人(+2)、東北大学36人(±0)、東京工業大学2人(+2人)、橋大学1人(±0)等に合格しました。特に東京工業大学への

現役生の合格は、平成31年度入試以来でした。また、近年首都圏からの受験者が増加して難化している東北大学の受験では、現役生で+1という結果でした。

医学部医学科には現役と過卒を合わせて延べ39人(+11)が合格。そのうち国立公立管外大学は29人(+10)でした。内訳は秋田大学26人(+8)、東北大学1人(+1)、東京工業大学1人(±0)、防衛医科大学1人(+1)となり、こちらも非常に健闘しました。

私立大学は現役と過卒を合わせて延べ270人が合格しました。最も合格者が多かったのは法政大学で17人、例年希望者の多い早稲田大学は11人、慶應義塾大学は6人でした。私立大学全体の合格者数は延べで、現

役168人(+43)、過卒102人(+32)でした。なお、合格者数は大きく増加していますが、私立大学への進学率は例年並みの人数にとどまっています。

来年度から新学習指導要領による新しい共通テストとなるため、浪人を避けて安全な大学に出席する傾向が全国的には見られました。本校では、第1志望達成という高い志を掲げて、最後まで努力を続ける生徒が多かったです。生徒の進路意識高揚のため、同窓会の皆さまにさまざまな場面でお力添えいただいていることに深く感謝しております。今後とも生徒の進路実現に向けて教職員一同支援して参りますので、ご協力のほどよろしくお願い致します。(進路指導部)

医学部医学科

大学名	現役	過卒	計
東北大学	1	0	1
秋田大	14	12	26
東京大	1	0	1
防衛医科大学	0	1	1
岩手医大	0	2	2
東北医薬大	0	2	2
自治医科大	2	0	2
国際医療福祉大	0	1	1
東海大	0	1	1
東京女子医大	0	1	1
マリアナ医大	0	1	1
医学部医学科計	18	21	39

国立公立管外大

大学名	現役	過卒	計	大学名	現役	過卒	計
北海道大	6	0	6	名古屋工大	0	1	1
北教大函館校	0	1	1	大阪大	1	0	1
弘前大	2	0	2	鳥取大	1	0	1
岩手大	4	0	4	山口大	0	1	1
東北大	33	3	36	九州大	1	0	1
秋田大	47	14	61	長崎大	0	2	2
山形大	3	0	3	鹿屋体育大	1	0	1
福島大	5	0	5	琉球大	2	0	2
筑波大	5	1	6	釧路公立大	1	1	2
宇都宮大	2	0	2	宮城大	1	0	1
埼玉大	5	0	5	国際教養大	4	1	5
千葉大	6	2	8	会津大	1	0	1
電気通信大	2	0	2	群馬県立女子大	1	0	1
東京大	6	2	8	高崎経大	2	0	2
東京外国語大	1	0	1	横浜市立大	2	0	2
東京学芸大	5	0	5	新潟県立大	2	0	2
東京工業大	1	1	2	都留文科大	2	0	2
東京農工大	2	2	4	愛知県立芸大	0	1	1
一橋大	0	1	1	福知山公立大	0	1	1
横浜国立大	3	0	3	京都府立大	0	1	1
新潟大	25	1	26	防衛大	1	0	1
富山大	2	1	3	防衛医科大学	0	1	1
金沢大	6	0	6	気象大	0	1	1
信州大	0	1	1	国立公立管外大計	195	42	237
静岡大	1	1	2				

※国立公立管外大とは国立公立大学と文科省管轄外の大学校

私立大

大学名	現役	過卒	計	大学名	現役	過卒	計	大学名	現役	過卒	計
北海道医療大	0	1	1	昭和薬大	1	0	1	武蔵野大	1	0	1
北海道科学大	1	0	1	成蹊大	3	1	4	明治大	9	4	13
酪農学園大	0	4	4	専修大	2	2	4	明治学院大	6	0	6
岩手医大	0	3	3	大正大	1	0	1	明治薬大	2	1	3
東北学院大	4	2	6	大東文化大	0	1	1	明星大	2	0	2
東北医薬大	1	4	5	拓殖大	2	0	2	立教大	3	1	4
流通経済大	0	1	1	玉川大	1	0	1	立正大	0	1	1
国際医療福祉大	1	1	2	中央大	6	7	13	早稲田大	9	2	11
自治医大	2	0	2	津田塾大	10	0	10	神奈川大	3	2	5
獨協大	2	0	2	帝京大	0	1	1	マリアナ医大	0	1	1
文教大	2	1	3	東海大	2	2	4	関東学院大	2	0	2
文田外語大	5	0	5	東京経大	0	1	1	金沢工科大	1	0	1
東京歯大	0	2	2	東京工科大	1	1	2	中京大	0	1	1
青山学院大	3	0	3	東京女子大	1	3	4	日本福祉大	1	0	1
学習院大	1	0	1	東京女子医大	0	1	1	同志社大	1	2	3
北里大	3	2	5	東京農大	1	6	7	立命館大	1	1	2
杏林大	1	0	1	東京薬大	2	1	3	龍谷大	4	0	4
慶応大	3	3	6	東京理大	8	8	16	大阪音大	1	0	1
工学院大	1	1	2	東邦大	0	1	1	関西大	2	2	4
國學院大	4	0	4	東洋大	11	1	12	近畿大	5	2	7
駒澤大	3	1	4	日本大	3	5	8	流通科学大	0	1	1
芝浦工大	4	2	6	法政大	12	5	17	福岡大	0	2	2
順天堂大	2	0	2	星薬科大	3	1	4	私立大学計	168	102	270
上智大	1	3	4	武蔵大	1	0	1				

※合格はすべて延べ数です

令和6年度教職員人事異動

【退職】	
副校長	佐藤隆一
教諭	南都勲
教諭	西村充司
実習助手	露崎由美子
非常勤講師	小松けい子
非常勤技師	細田伸
非常勤技師	永井豊美
【昇任・転出】	
転出先	
教頭	齊藤雅子 本荘高校
主幹(兼)事務長	長岐亮 高校教育課
教育専門監	土門高士 秋田明徳館 高校通
教諭	江畑美保 高校教育課
事務長補佐	村松伸彦 五城目高校
教諭	佐々木裕之 秋田明徳館 高校定
教諭	坂本公正 由利高校
教諭	三浦千寿子 金足農業高校

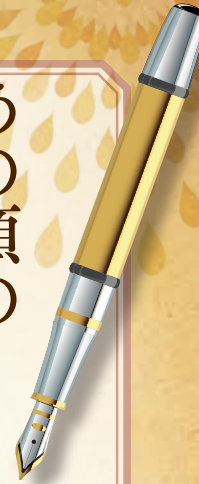
教諭	伊東裕 能代松陽高校
実習助手	村上恵美子 金足農業高校
主任	伊藤瑚津絵 公営企業課
臨時講師	佐藤貞夫 秋田西高校
臨時講師	藤澤真樹 本荘高校
臨時講師	阿部歩輝 秋田南高校
非常勤講師	中野舞 秋田明徳館・秋田西高校
【昇任・転入】	
転入元	
副校長	牛丸靖浩 能代科学技術高校
教頭	高田屋馨 金足農業高校
事務長	三浦隆 福利課
教諭	三浦直彦 秋田中央高校
教諭	一関修二 公文書館
教諭	秋山恵美 秋田中央高校
教諭	幕澤美穂 本荘高校
教諭	鳥井拓弥 由利高校
教諭	神居恵悟 十和田高校

実習助手	百瀬昇子 秋田南高校
事務長補佐	檜森亮一 生涯学習課
主査	桜庭有里子 秋田北高校
主査	伊藤徹平 医務事業課
臨時講師	内海則彦 秋田西高校
臨時講師	樋泉淳 横手高校
臨時講師	初山聖陽 横手高校
非常勤講師	東海林大樹
非常勤講師	長岐康彦 秋田中央高校
非常勤技師	加藤高美
非常勤技師	中村正光
臨時講師	佐賀智大
臨時講師	佐藤隆一
非常勤講師	加賀智大
非常勤講師	佐藤武
非常勤講師	岩川克敏

あの頃の

思い出

13



幻の女子クラス

皆さんは、150年の秋高の歴史にたった6年間だけ存在した「女クラ」（女子生徒のみのクラス）をご存じでしょうか。校史で最後の「女クラ」に所属していたある卒業生の「あの頃の思い出」です。

第一学年「女クラ」の歴史

S61	男クラ(5)	共学(4)	理数科
S62	男クラ(5)	女クラ(2) 共学(2)	理数科
S63	男クラ(5)	女クラ(2) 共学(2)	理数科
H1	男クラ(5)	女クラ(2) 共学(2)	理数科
H2	男クラ(4)	女クラ(2) 共学(3)	理数科
H3	男クラ(4)	女クラ(2) 共学(3)	理数科
H4	男クラ(4)	女クラ(2) 共学(3)	理数科
H5	男クラ(2)	共学(7)	理数科
H6	共学(9)		理数科

女クラとTシャツと私

細川 奈々子(平成7卒)

実を言うと、私は、女性だけが大勢いる場が苦手です。なんとも言えない緊張感があり、身構えてしまうからです。15年ほど前から講師を務めているカルチャースタールのフランス語講座には、20代から80代まで老若男女さまざまな方が通ってくださっています。「秋田弁と似ているフランス語を楽しもう！」という遊び感覚の気軽なレッスンであるにもかかわらず、生徒さんが女性だけのクラスの時間は、どんなに慣れたメンバーでも私は緊張してしまふのです。なぜだろう？ と深く考えたことはありませんでしたが、その理由が今回わかったような気がします。

「女クラ」って何!?

私が入学したのは1992(平成4)年。1年生の時のクラスは、入学前からうわさに聞いていた女子クラス「女クラ」でした。当時、10クラスのうち「女クラ」は2つだけあり、私はそのうちの1つ、1年B組。1Bの教室は理科棟にあり、隣は共学クラス、真上には男子クラス「男クラ」がありました。休み時間に窓の外を見ると、「男クラ」がたくさんある向こう側の棟の廊下の窓から、ズラリと並んだ男



ほそかわ・ななこ/1976年秋田市生まれ。旧姓鈴木。1999年立命館大学政策科学部卒業、同年4月から3年間、NHK秋田放送局でキャスターを務める。その後、フリーアナウンサーとして結婚式やイベントの司会、テレビ出演などをする傍ら、2007年からカルチャースタールでフランス語講座を開講。フランス語は大学時代に学び始め、パリや南仏などへの留学経験も。12年前に秋高の同級生にハビネットの試合に連れて行って以来、趣味はバスケットボール観戦!

子生徒がこちらを眺めていた光景を今でもよく覚えています。

女子校出身者から聞くエピソードとして「気を遣わないから、楽!」「周りの目を気にせず、寒ければスカートの下にジャージをはいたりもする」「昼休みは、学食に猛ダッシュ! 男子がいると勝ち目がないが、女子同士の真剣な戦い!」というような話があります。ところが、学校全体が女子生徒だけの女子校と違い、「女クラ」の場合は一歩教室を出ると異性の目がありますので、自分が女子であることを強烈

株式会社 さとう米穀
代表取締役 **佐藤 基直**
(昭和57年卒)
〒010-0865 秋田市手形新栄町2-37
TEL 018-832-5411
[ライスセンター]
〒010-0041 秋田市広面字近藤堰越24-1
TEL 018-835-6667

歯科 明德町クリニック
院長 **佐藤 直人**
(昭和57年卒)
診療時間
月~土 8:30~12:30/14:30~17:30
火 9:30~13:00/15:00~18:30
水 8:30~12:30/14:30~17:00
休日 木曜、日曜日、祝日、第一金曜日午後
〒010-0875 秋田市千秋明德町3-48
TEL 018-832-4224

産科・婦人科・内科
川原 醫院
院長 **川原 聡 樹**
(昭和57年卒)
秋田市手形字山崎194-1
TEL 018-833-4868

創業明治十六年
株式会社 **榮太樓**
菓子舗
代表取締役社長 **小国 輝也**
(昭和57年卒)
<http://www.eitaro.net>
秋田製菓
TEL 018-833-4868

に意識させられる特殊なものでした。

この原稿のお話を頂いてから、身近にいる秋高出身の後輩や数年前にお子さんが秋高を卒業したという友人等に「女クラ」の話をしてみると、「初めて聞きました!」「え? 女子だけのクラス?」「共学クラスしかなかったですよ!」と想像以上に驚かれ、こちらが逆にビックリしています。10歳の娘にも「ママは高校1年生の時、女子クラスだったんだよ」と伝えてみたところ「えく!? 女子だけのクラス!? 私は嫌だなく。男子もいた方が絶対楽しいよ!」という反応でした。確かに、幼稚園でも小学校でも女子だけという状況はほとんどないので、彼女にとって「女クラ」というのは、想像するのも難しい不自然な環境なのでしょう。

ハピネッツピンクの学対Tシャツ

毎年夏になると我が家で「パジャマ」として登場するTシャツがあります。秋高三大行事の1つ「学級対抗」のユニホームとして、毎年クラスごとに作っていた「学対Tシャツ」。クラスの皆で考えた個性あふれるデザインで、背中側には自分の好きな番号と名前を入れた世界に1つしかないオリジナルTシャツです。女クラの1Bの時のTシャツは、シヨッキンゲピンク。当時はまだ、男性がピンク色のものを身につけることに抵抗があったかもしれませんが、女子しかいないクラスだからこそ、この色を選ぶことができたのでしょう。プロバスケクトボールチーム・秋田ノーザンハピネッツ



1年B組のオリジナル学対Tシャツ



のチームカラーとして知られる「ハピネッツピンク」なので、これを着てハピネッツの応援に行っても違和感がないかもしれません(笑)。ヨレヨレになってきている学対Tシャツ、これからも着るたびにあの頃の楽しかった日々を思い出させてくれることでしょう。

担任のヤマチヨ一先生

ところで、私たち1Bの担任は、英語科の山本長幸先生。先日、先生に当時のことについて電話でインタビューをさせて頂きました。初めに例の学対Tシャツの話をしたところ「俺も家で今でも着てるよ。夏に大活躍してる、

シヨッキンゲピンクのTシャツ!」と先生から即答で返ってきて、思わず笑ってしまいました。

ヤマチヨ一先生は、女クラの担任が決まった当時20代で独身だったため、他の先生方から「大丈夫か?」と心配されたり、男クラの生徒からは「先生だけずるい」と羨ましがられたりしたそうです。今にして思えば、女子生徒だけのクラスが設定されていたことで妙な波紋が生まれていたのですね。

ヤマチヨ一先生が忘れられない思い出として挙げてくださったのは、先生ご自身の結婚披露宴。ちょうど1Bの担任をされていた年にご結婚され、結婚披露宴の余興の際に1B全員が会場に駆けつけ、お祝いの歌を歌ったのです。女子のみ47人! まるでAKBか乃木坂か!? 女クラならではの演出は大成功でした。



1年B組クラス写真

株式会社 サンワ

代表取締役
宮田 さとし
(昭和57年卒)

本社 〒010-0951
秋田市山王5丁目9番31号
TEL 018(863)1345(代表)
FAX 018(862)7179
E-Mail: s.miyata@sanwa-neji.jp

細部眼科医院

院長 細部 泰雄
(昭和57年卒)

(医学博士・日本眼科学会認定眼科専門医)

URL <http://hosobe.com>
TEL 018-883-5088

秋田市保戸野すわ町15-2

《隣設》アイ・ライフ・コンタクトセンター
(コンタクトレンズ)

株式会社 八森運輸



<http://www.hachimori-unyu.com>

代表取締役社長 富山 亨 (昭和57年卒)
Akira Hatakeyama



〒018-1401 湯上市昭和大久保字北野細谷道添 73-103
TEL 018-877-6781
FAX 018-877-6770

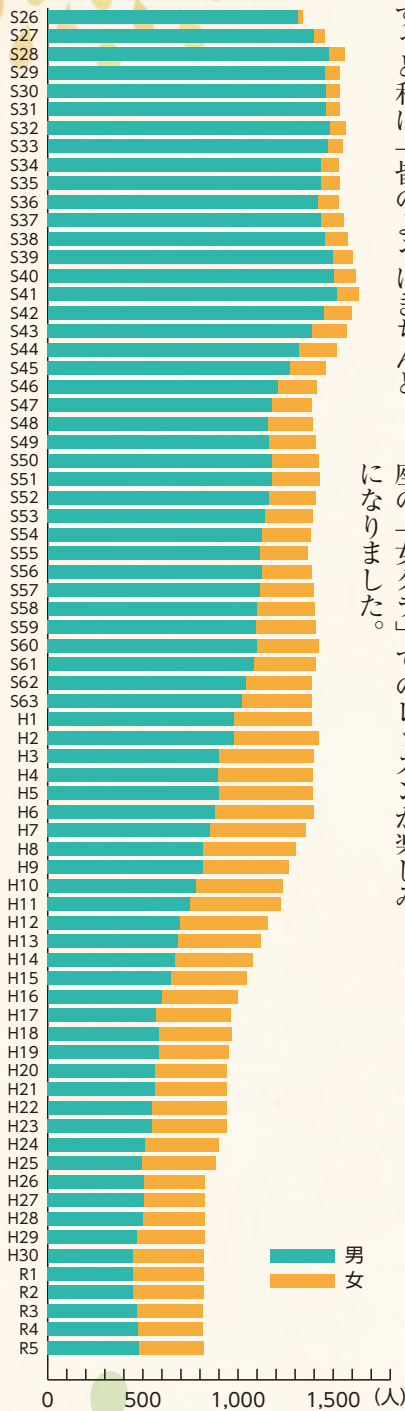
才色兼備なクラスメート

ヤマチヨウ先生は、1Bのクラスの雰囲気について、こう話してくださいました。「男クラも共学クラスも担任をしたけど、秋高の他のクラスとそんなに違いは感じなかった。違うのは、くだらないジョークにも笑ってくれることくらい」

それを聞いて、私は忘れていた大事なことを思い出したのです。そう、先生のジョークが少々面白くなかったとしても（笑）、優しく対応するということ遣いができる、そんな女子がたくさんいたということ！

1Bには、私から見れば「才色兼備」という言葉がぴったりな、性格が良くて美しい秋田美人がたくさんいたのです。私とは違う世界にいるようなクラスメートがたくさんいて、そんなクラスメートを見て「私もしっかりしなくちゃ！」と思わされたり、私は彼女たちとは違うのだと打ちひしがれたり。見た目も振る舞いも美しくきちんとしている素敵な女性たち、その中に混ざって過ごした一年間。もしかしたら、ずっと私は「皆のようにきちんと

全校生徒数の推移



しなくちゃ」というプレッシャーを勝手に感じてしまっていたのかもしれない。当時、放送委員会で活動をしてきた私にとっては、放課後の放送室がほっとくつろげる場所だったということとは、ここだけの話にさせてください（笑）。とは言っても、今でも頻繁に連絡を取り合ったり、ことあるごとに思い出し相談したいなど思うのは、女クラと一緒に過ごした友人に多いことも事実です。

「女クラ」が私にくれたもの

改めて考えてみると「女クラ」とはいったい何だったのでしょうか。共学の学校でありながら、あえて女子のみを集めたクラスを作った意図とは？ 他校にもあったのでしょうか？ いろいろ疑問がわいてきます。今でも私が女性だけが大勢いる場で緊張してしまうのは、才色兼備なクラスメートに囲まれて過ごしたあの1年があったからなのかなと、「女クラ」という特別なシステムの「せい」にしてみようと、程よい緊張感を前向きに捉えられるような気がします。次回のフランス語講座の「女クラ」でのレッスンが楽しみになりました。

「男クラ3タテ」出身者の証言

女子のいない教室

鷺谷 貴洋 (平成7卒)

上半身裸で授業を受ける猛者までいた男クラはまさに動物園状態だった。学対での共クラへの対抗心は鬼気迫るものがあつた。

そんな男クラという檻から出たことのない自分にとって、女クラとは想像上の存在でしかなく、得体がしれず、ちよつと怖かつた。

男クラの生徒は「男クラになった不幸な奴」だと思われているかもしれない。確かに思春期に男クラという檻に閉じ込められたというのは不幸であつた。しかし今思えば、そんな不幸をネタにできる「おいしい立場」だったとも言える。秋高史上最後の男クラ出身、学年で10人に満たない男クラ3タテという貴重な存在になれたことを誇りに……でもしなければやってられない（笑）。

不動産のことなら信用と誠実の
有限会社 **すぐる不動産**

(公社) 秋田県宅地建物取引業協会会員

代表取締役
木村正之 (平成4年卒)

〒010-0918
秋田市泉南一丁目15-25 シンワビル
TEL 018-893-3231
FAX 018-865-1675

工藤司法書士事務所

司法書士
工藤 亨 (平成4年卒)

〒015-0861
秋田県由利本荘市御門265番地1
TEL 0184-22-6233
FAX 0184-24-5243
Mail: ku-shiho@mbe.nifty.com

地域とともに60年

石油・LPガス販売
(株) 児玉商会

旅客運送業
森岳観光タクシー(有)

代表取締役
児玉 高久 (平成4年卒)

〒018-2303 山本郡三種町森岳字町尻50番地5
TEL 0185-83-2201
FAX 0185-83-4863

KAHENOCHO
STORE
YAMAKIU
YAMAKIU
WIMAMI 5&6

株式会社ヤマキウ

代表取締役
小玉 康明
(平成4年卒)

〒010-0011
秋田県秋田市南通電の町6-46
TEL 018-833-5350

交差

秋田が変わるきっかけに

秋田魁新報社 代表取締役社長 佐川博之（昭和51卒）

地域を報じる「さきがけ」になる。

秋田が変わる「きっかけ」になる。

秋田魁新報社は昨年、自分たちの会社が秋田に存在する意義であり、地域との約束事でもある「パーパスを定めました。」

読者の皆さんに日々、新たな気づきを得ていただけるように、必要とされる情報をいち早くキャッチし、それを正確に、深く、分かりやすく伝えていくというのが一つの約束です。社名と新聞題字に冠した「魁」の文字に恥じない、

先駆的報道をこれからも展開していく決意を込めました。

「課題先進県」とされる秋田が直面する諸課題に、読者自らが向き合い、考え、議論をしていくための、素材提供の役割を担っていくというのが二つ目の約束です。連載記事や特集記事、それに関連したシンポジウムなどを通じて、課題解決の糸口を探るために、多面的・多角的なアプローチを試みます。地域が良き方向に向かう機運づくりに深くかわります。

新聞協会賞（2019年度）や菊池寛賞（2020年度）



元日から連載中の「地方創生 失われた10年とこれから」（2024年4月21日付）

を受賞したイージス・アショア報道のように、私たち新聞社が先頭に立って主張する場合もあります。課題に対して何をなすべきかを考え、行動につなげていく主役は、あくまでも「県民」です。そんな立場から、パーパスは「秋田を変える」ではなく「秋田が変わる」と表現しました。

元日から連載中の「地方創生 失われた10年とこれから」は、パーパスを具体化した象徴的な取り組み例です。2014年、当時の安倍政権は「地方創生」を看板政策として打ち出しました。人口減少の克服や、東京一極集中を是正するという触れ込みでしたが、見るべき成果を挙げられないまま今日に至っています。

人口減少率が全国で最も高く、若年層の県外流出が止まない秋田の地から、「地方創生」が看板倒れとなった理由を探り、検証するために始めたのがこの連載です。開始早々から自治体や地方議会関係者をはじめ、県民の間で反響を呼び、人口問題に関する議論を通じて、県民と共に「秋田が変わる端緒」を見いだしたいと、編集現場は張り切っています。

秋田魁新報はことし2月、創刊150年を迎えました。現存する国内の日報紙では、

東京日日新聞（現・毎日新聞）や長野新報（現・信濃毎日新聞）などに次いで、全国で5番目に誕生した歴史ある新聞です。遐邇新聞として産声を上げたのは廃藩置県から3年後の1874（明治7）年です。その前年に誕生している秋田高校の1年後輩になります。

創刊後、自由民権運動が盛んになるにつれ新聞の主張は熱を帯び、公権力や軍から言論弾圧を受けることがしばしばでした。発行停止の憂き目に何度も遭いましたが、先人たちは屈することなく、題字を変えながら紙齢をつなぎました。本紙は5度改題して現在の「秋田魁」に至ります。

その後も戦争や自然災害など、幾度も試練に遭遇しましたが、その都度、知恵と工夫で乗り越えてきました。現在、私たち新聞界は読者減という大きな試練に直面しています。人口減に加え、若年層の活字離れが主因です。SNSが日常生活に欠かせないものになり、スマホがあれば、だれもが気軽に情報を受発信できる時代になったことが大きく影響しております。

しかし、雑多な情報が氾濫する世の中だからこそ、経験に裏打ちされた高い倫理観を持って情報を発信する新聞の役割は、これからも色あせることはないと思っ

す。生成AIの登場もあって、真偽不明の情報はますますはびこることでしょう。情報を正しく読み解き、活用していく情報リテラシーの重要性を社会全体が強く自覚したとき、新聞社が発信する情報は、紙であれデジタルであれ、その価値が改めて見直されるものと確信しております。

昨年、創立150周年を迎えた秋高の記念キャッチフレーズは、「秋高150」伝統は常に変化と共にありました。考案者は若き卒業生だそうですが、母校の150年の重みを的確かつ簡潔に表した見事な作品だと感心しました。時代の変わり目を敏感にとらえ、変化へ柔軟に対応しながら新たな歴史を紡いでいこうと、母校のキャッチフレーズに思いを新たにしているところ

Profile



さがわ・ひろゆき／1957年、秋田市生まれ。早大商中退。82年秋田魁新報社入社。社会部次長、政治経済部長、論説委員長などを経て2011年取締役編集局長、15年常務取締役読者局長、18年専務取締役編集本部長。19年に代表取締役社長に就任し、理事や秋田経済協会代表幹事、関係会社などを兼務する。

3児の母、フルタイムの教員から45歳で弁護士に

生井 みな絵 (平成9卒)

私は今、東京都大田区にある「RHA法律事務所」というところで弁護士として働いています。弁護士登録したのは去年の12月。バジッピかぴかの新人弁護士です。

秋田高校時代

小学生の頃から「裁判官」に憧れていた私は、大学は司法試験合格者の多い法学部に行こう、と考えていました。そのため志望校は明確でしたが、実際には勉強熱心というわけではなく、吹奏楽部に所属し、遅くなるまで部室でおしゃべりしたり、合奏したり、のんびりと高校生活を楽しんでいました。当時、野球部では同学年の後藤光尊選手たちが甲子園に出場するなど活躍していた頃で、授業を抜け出して野球場へ応援に行ったことも懐かしい思い出です。

18歳の春、第一志望の大学に合格したことを報告し、「上京して司法試験を受けます」と深く考えず宣言した私に、当時の担任の先生は笑って言いました。

「あなたはがんばりやさんだからな。できるかもしれないな」私はびっくり仰天しました。それまで一度も、自分が「がんばりやさん」だと思ったことはありませんでした。むしろ、怠け者のマイペース、志望校に合格できたのは運が良かっただけ、と思っていましたし、周囲からもそう思われていると感じていました。

この時の先生の言葉は、私の胸に深く残り、「自分はがんばりやさんなんだ、できるはずだ」と、くじけそうな時に励ましてくれる大切な言葉になりました。

大学時代から法科大学院入学まで

就職氷河期真っただ中の2001年に大学を卒業した私は、民間企業への就職も決まらず、もちろん司法試験にも受からず、偶然の出会いに導かれるように、教育の世界へ足を踏み入れました。そして、秋田県内にある養護学校の「臨時実習助手」から始まり、通信教育で教員免許状を取得後は、秋田県内の小学校の臨時講師、宮城県の小学校教諭、東京都の小学校教諭、と地域を変えながら学校現場で働き続けました。

しかし、ふとした時、「司法試験どうなった??」と、もう一人の自分が問いかけてきます。教員としての仕事が充実していく一方で、私にとって教職は「第二の選択」だ、という思いは、消えることはありませんでした。

3人目の子供を出産後、職場に復帰してみて、十分に仕事と育児を両立できると感じました。そこで、もう少し「がんばれる」かもしれないと、38歳の春、働きながら通える社会人のための夜間ロースクール、筑波大学法科大学院に入学しました。

仕事&育児&ロースクール→→司法試験合格

ロースクールは、平日夜2~3日と、土曜日に授業があります。朝起きて子供たちを学校や保育園に送り、フルタ



なまい・みなえ / 平成13年早稲田大学法学部卒業。旧姓大石。学校現場で教員として約20年間勤務。働きながら夜間ロースクールに通い、司法試験に合格、45歳で弁護士に転身。現在所属するRHA法律事務所では、一般民事から企業法務まで幅広く扱う。3児の母。好きなアーティストはMr.Children。

イムの仕事が終わらせ、大急ぎで職場からロースクールに移動して授業、家族の寝静まった夜遅くに帰宅して課題に取り組む生活は、体力的には厳しいものでした。他方で、法律の勉強には、まるで古い友達に再会したような懐かしさと、本来自分が目指していた道に戻って来ることができたという安心感がありました。そして、自分は自由だ、という何とも言えない高揚した気分で、精神的には満たされていたように思います。

また、ロースクールでは、同じようにセカンドキャリアを夢見るさまざまな職種・年代の仲間と出会えました。

共働きなので、夕食作りは普段から夫の担当でした。私がロースクールの授業のある平日は、それに加えて保育園の迎えから小学生の宿題チェック、お風呂に夕食、兄弟げんかの仲裁、寝かしつけ等々を夫が一手に引き受け、支えてくれました。本当に大変だったと思いますし、私の話を聞いた人たちは、一緒に、「だんなさんがすごい」と言います。

ロースクールに通い始めた頃は、子供たちもまだ幼く、授業がない日は寝かしつけで読み聞かせをしていました。小4だった長男のリクエストは、「ハリーポッター」シリーズ。1日1章ずつ読みましたが、それでも30分以上かかります。読んでいる間に、次男と末娘はすっかり夢の中。長男はもう自分で読めるのに、読み聞かせをリクエストする、その気持ちを考えると母親として切なくて、一生懸命音読したことを懐かしく思い出します。

家族全員に負担をかけていることに申し訳なさ感謝を感じながら、勉強を続け、ロースクールを4年で修了し、2回目の司法試験で合格することができました。

これから

弁護士となった今でも、業務の空き時間を使って、近所の小学校で週3時間ほど、国語を教えています。今後は、弁護士として目の前の仕事に真摯に取り組むと同時に、スクールロイヤーとしてのかかわり方で学校法務や法教育に取り組んだり、学校を規律する法律について現場の教員としての意見を発信したりするなど、教員としてのキャリアを生かした法律の専門家としての仕事も開拓していこうと思っています。

農業を「普通の仕事」にしたい

松橋 拓郎 (平成17卒)

大学時代に教師から農業に方向転換

私は大潟村に農家の長男として生まれました。平成19年のわか杉国体で大潟村がボート競技の会場に決まっていたため、秋田高校ではボート部に所属し、教師を目指して早稲田大学の教育学部に進学してからもボートを続け、国体出場を果たしました。教員免許を取得したものの在学中から農業に興味を持ち、方向転換して実家に戻り農家になりました。就農以来、農業を通してコミュニティを形成することや農業を自分ごとにしてもらい関わる人たちに喜んでもらうことを目指して活動を続けています。中でも力を入れているのは酒米が種から日本酒になるまでの過程に関わりながら皆でつながり、「自分たちの日本酒」をつくりあげる「農家とつくる日本酒プロジェクト」です。現在約300人のメンバーとプロジェクトを運営しています。

職業としての農業の魅力を高めたい

農家の数はすごいスピードで減り続けています。農業に興味を持ち始めた学生時代から農業に関する統計データを見ていますが、実際に農家になってからは、なぜ農家は減り続けるのかと考え続けています。栽培の効率化が進み同じ面積に対して必要な農家の人数が少なくてよくなったという面もあるでしょうが、一般的には農業はもうからないから農家が減り続けると言われます。しかし、私はそもそも職業としての農業の魅力が高くないのではないかと考えています。

当たり前のことですが、減るということは、退出するプレーヤーの数に対して参入するプレーヤーの数が少ないということです。農業に参入するにはいくつかの方法があると思いますが、本来一番ハードルが低いはずなのが親元就農です。生活が成り立つほどの所得が得られることが前提にはなりますが、設備も農地もノウハウも売り先も(ついでに実家も)あります。ものすごく簡単に言うと農家の子供がみんな実家の農業を継げば農家の数はそんなに減らないということです。しかし、ハードルが低い「はず」と書いたのには理由があります。周りの農家の同世代や先輩たちの話を聞くと(もちろん一例ではありますが)、小遣い制で月数万円の可処分所得を親に渡される、仕事の評価ではなく結婚や出産などのライフステージの変化が小遣い増額のきっかけになる、親の都合や気分で作事の予定が決まるなどといったことをよく聞きます。また、農業というか家族経営全般に言えることかもしれませんが、そもそも家族間で仕事をしながら円滑にコミュニケーションを取ることも意外と容易ではありません。私自身の経験も一部重なる部分がありますが、このような状況で尊厳を感じながらやりがいを持って働くことができるだろうかという思いが強まっています。

その他には独立して新規で就農するという選択肢もありますが、高額な設備投資と農地の確保、技術の習得が必要で、さらに外部から農村社会に入って行かなければな



まつはし・たくろう/1986年、大潟村に農家の長男として生まれるも、教師を目指して高校卒業後は教育学部に進学。在学中に農業に目覚め、ヨーロッパの農村への滞在や北海道での農業研修を経て2011年に故郷である大潟村へ戻り就農した。農業を通じたコミュニティづくりを目指し、皆で「自分たちの日本酒」づくりを目指す「農家とつくる日本酒プロジェクト」などに取り組んできた。2023年、父からの事業承継を機に(株)大潟村松橋ファームを設立し代表取締役役に就任。

りません。独立就農とはすなわち起業です。農業に限らず全産業でみても事業を継続し続けられる起業家は実力と運を兼ね備えた一握りの人たちと言えるでしょう。

これ以外では農業の経営体(主に法人)に就職するという選択肢もあります。農地の集約が進み、従業員を雇用している法人が増えてきた印象です。

普通に休みが取れ給料をもらえる会社に

2023年に父より事業承継を受けるタイミングで(株)大潟村松橋ファームを設立しました。普通に働いて普通に休みがあり、普通に家族や仲間たちとの時間を持つことができ、普通に給料をもらえるような会社を目指しています。

法人の方が法定福利費や税務関係の外注費用もかかりますし、自動車保険一つとっても法人の方が保険料が高いです。しかし、法人として就業規則や社内環境を整えていくことにしました。

法人設立という箱を作る作業は拍子抜けするくらいに簡単でしたが、この箱を魅力的な経営体にすることを目指しています。

家族だけではどうしても甘えや非常識な部分などを排除しきれないので「他人の目」を入れるべく、家族以外の人を正社員として招き入れるのを次のステップと定めています。当然のことながら、個人事業を法人経営に移行して就業規則を整えるだけで魅力的な経営体になるわけではありません。新米経営者として試行錯誤の毎日です。

経営理念は、「農業を通して価値を提供する」です。舌から得られる情報のみならず脳から得られる情報も駆使しておいしいと喜んでもらう。魅力的な経営体をつくり良質な雇用を生み出し、共に働く人や地域に貢献する。このように組織の外に対しても中に対しても農業を通して価値を提供することを目指しています。

こんな当たり前のようなことを真顔で話していて時々恥ずかしくなることがありますが、ちょっと特殊だと思われがちな農業を「普通の仕事」にするのが私の目標です。

自ら考え、展開するデジタル化を

前秋田市デジタル化推進本部 本部長

北嶋 英樹 (昭和57卒)



きたじま・ひでき/1986年秋田市役所入所。1998年頃から人事課人事担当の仕事をしなが、秋田市役所内全体と各施設を網羅する行政情報ネットワーク構築、グループウェア導入、ICT研修構築を担当。2000年稼働と共に、新設された情報政策課に異動。その後、秋田公立美術大学設置・法人化にも参加し、2019年美大事務局長。2022年から2023年までデジタル化推進本部長

「汝、何のためにそこにありや」は、秋田高校第28代校長鈴木健次郎先生が語られ、機会あるごとに先輩から我々に伝えられてきた言葉であり、この問いに接するたび、その仕事に関わる意味と自分自身で考えているかを問い直してきます。計10年近く秋田市のデジタル化に関わり、この言葉を念頭に得た知見についてお話しさせていただきます。

スマホ普及で市民サービスのデジタル化が急進展

全世界のデジタル化の進展と共に、日本でもデジタル化は加速度的に進んでいます。その根底となり、影響が一番大きかったのは、スマートフォン(以下「スマホ」)の社会インフラ化とGoogle Mapなどインターネット上の無料サービスの拡大でしょうか。

これまで公共団体では、事務効率化を目的にシステムを導入する「行政情報化」が中心でした。しかし、現在スマホの普及割合は9割以上。どこにでも持ち運べ、いつでも使えるスマホをインフラとして「地域情報化」の展開が可能となりました。国では、確定申告や転出手続きなどをスマホのICカード読み取り機能とマイナンバーカードで可能としています。交通では、本市でもバス料金をスマホのモバイルSuica機能で払えますし、今後バスの位置や遅れもスマホから知ることができるようになる予定です。

また、現在LINEで「子育てLINE」や「除排雪情報」を展開しています。令和6年5月から「秋田市公式LINE」として全庁展開し、最新の情報を必要とする人に届けるほか、市民の質問に答えるチャットボットなど双方向



講座風景

でのやりとりを簡易にできるようにする予定です。

このように、今の時代は、自分に合ったサービスを使いこなして生活を便利にする、スマホを避けて通れない時代になっていきます。このため、本市でもスマホを利用すれば、市役所に行かなくてもよい「デジタル市役所」の実現を目指しています。

独自に考えたデジタルデバインド解消法

ただ、これは逆に言うスマホをうまく利用できなければ、サービスを享受できないということ。いわゆる「デジタルデバインド」問題です。このために、本市では、「誰一人として取り残されない仕組みづくりを推進する」ことを目的に、一味違った展開をしています。

第1に、解らなかつたことを自分のスマホで1時間たっぷり聞ける「スマホ相談窓口」。第2に、仲間で教え合えるコミュニティ育成を目的に、市民が仲の良い2〜4人のグループを自ら集め、そこにスマホ講師を派遣する「出前講座」。第3に、講習後に復習できるようにする

「デジタル動画」(国の動画も利用)と何回でもこれを繰り返せるように構成しています。これは、「スマホ教室」で習っても忘れるのが普通、との理解の上で、本市が独

自に考え、企画したものです。これらを「スマホ教室」と共に展開していますが、他市からも照会を受けており、徐々に広がっていくかもしれません。

システム導入だけでDXはできない

このように、どれだけデジタル化が進展しても、最終的には、人材育成やリテラシー向上など、人の関与する部分が最も重要だと感じています。

よく聞くDXという言葉は、「デジタル技術を社会に浸透させて人々の生活をより良いものへと変革すること」が本来の意味ですが、日本では「デジタル技術を通じて、組織の競争力を向上させ、最終的に組織自体を改革する」意味でよく使われています。

後者の場合、ついシステム導入となるのですが、個人的には「DX⇨BPR(改善)+人材育成+情報共有+必要システムの導入」と考えています。つまり、システム導入が主ではなく、人が主となるそれ以外の地道な内容を含めた全体が必須という認識です。

特に組織の血液とも言える「情報共有」と「組織内の人材育成」をうまく進めることは必須で、経験上それらがシステムとかみ合えば組織文化は変わります。システム導入は分かりやすいのですが、単に導入すればDXが成功する訳ではないと考えています。

簡単ですが、以上がデジタル化に関わりながら得た知見です。今後とも本市では、職員が頭で考え、市民の方がデジタル化のメリットを享受できるようにすることに重点を置きながら、「デジタル市役所」の実現に向け、一つ一つ歩を進めていきたいと考えています。

令和6年度 年会費納入のお願い

秋田高校同窓会の運営は、その財源基盤のほとんどを会員の皆さまの年会費に依存しています。円滑な同窓会活動を推進するため、令和6年度の年会費納入にご協力賜りますようお願い申し上げます。同封の払込取扱用紙でコンビニまたは郵便局で納入くださるようお願いいたします。経費削減のため、できるだけコンビニを優先してご利用ください。(コンビニ納付は8月31日まで)

◆会費の口座自動振替のお勧め◆

納入手続きの煩わしさを解消し、“うっかり忘れ”を防止するとともに経費節減を図るため口座自動振替をお勧めしています。ご希望の方は、今年度の会費納入時に払込用紙にある金融機関名を選び○をつけ、必ず郵便局・ゆうちょ銀行からお振り込みください。

口座振替の新規募集は年1回です。お申し込みは今回の払込取扱票でお願いいたします。

年会費に関する取り決めは以下のとおりです。

1. 年会費は会員1人あたり2,000円とする。
2. 年会費の請求は単年度のみとし、過年度分は請求しない。
3. 母校卒業後4年間は年会費の納入を免除する。

(財政委員会)

哀悼

謹んでご冥福をお祈り申し上げます
敬称は省略させていただきました

④ (昭20) は旧制中学を4年で卒業

⑤ (昭20) は5年で卒業したことを表す

菅原 昭悦 (昭22)	和藤 忠男 (昭34)	工藤 嵩義 (平16)	山崎 義章 (昭37)	白山 憲一 (昭33定)	石郷岡 信雄 (昭27定)	羽柴 昭雄 (昭35定)	寺田 昭士 (昭30)	作左部 時雄 (昭36)	高橋 慶和 (昭33)	鈴木 浩一 (昭33)	館岡 哲 (昭34)	永井 博敏 (昭43)	岡江 伸明 (昭43)	鎌田 義春 (昭35)	安部 洋太郎 (昭33)	小林 紘 (昭34)	石川 揚一 (昭29)	丸山 博一 (昭28)	山中 良二郎 (昭20④)	深井 英昭 (昭33)	佐藤 昭則 (昭36)	井上 昭久 (昭29)	土肥 昭治 (昭23)	田村 兵衛 (昭63)	小林 元彦 (昭38)	館岡 斉康 (昭43)	齋藤 文夫 (昭26)	武石 茂 (昭23)	篠田 茂 (昭31)	令和5年 11月 佐々木孝寿 (昭31)	令和4年 5月 小川 努 (昭29)	令和3年			
大泉 正樹 (昭29)	館岡 政満 (昭43)	吉沢 悦郎 (昭30)	金 紀男 (昭33)	小名 久功 (昭32)	伊藤 正男 (昭33)	横井 邦茂 (昭38)	佐々木 高昭 (昭20⑤)	佐々木 信一 (昭30)	佐藤 孝一 (昭33定)	二木 英一 (昭36)	朝倉 常昭 (昭30)	鈴木 正昭 (昭34)	長谷川 仁司 (昭29)	榎 吉満 (昭35)	平岡 優 (昭35)	伊藤 功 (昭33)	伊藤 民雄 (昭35)	大塚 高明 (昭42)	若狭 治徳 (昭27)	西村 紀一郎 (昭34)	築地 道夫 (昭33)	高田 宗義 (昭15)	佐藤 信孝 (昭21)	進藤 金一 (昭32定)	小松 次雄 (昭30定)	高橋 昭 (昭45)	横山 信 (昭35)	三浦 金幸 (昭29定)	原田 千秋 (昭35)	信太 聰一 (昭27)	八柳 精孝 (昭27)	進藤 義雄 (昭31定)	宮崎 紘司 (昭38)	佐藤 康也 (昭29)	藤原 幹夫 (昭28)
依谷 博信 (昭52)	相場 善裕 (昭44)	久米 鉄雄 (昭35定)	那波 勝義 (昭37)	保坂 良廣 (昭45)	浜辺 康男 (昭37)	林 紘繼 (昭39)	鈴木 輝實 (昭37)	石山 宏一 (昭40)	小玉 和夫 (昭36)	石川 正浩 (昭27)	小林 浩 (昭53)	佐藤 久弥 (昭30)	深井 長雄 (昭30)	信太 敏彦 (昭29)	森谷 裕二 (昭29)	伊藤 重樹 (昭31)	田村 龍美 (昭36)	原田 鉄治 (昭59)	安東 政文 (昭27)	和賀 英夫 (昭41)	橋本 誠士 (昭35)	大貫 誠士 (昭38)	赤平 末次郎 (昭26)	加藤 榮一 (昭30定)	米澤 晴幸 (昭27)	木内 恵一 (昭26)	刀根 和夫 (昭31)	野村 直 (昭42)	武田 誠 (昭30)	吉原 彬生 (昭46)	三木 宗雄 (昭34)	島田 宗雄 (昭36)	令和6年 1月 池内 俊之 (昭48)		

株式会社 **トラパント**
Torapants Inc.
代表取締役
長谷川 敦
(平成4年卒)

看板・ネオン・ディスプレイ
株式会社 **アド秋田**
専務取締役
墨谷 誠 (平成4年卒)
秋田市外旭川字堂の前8番地8号
TEL018(864)1504・FAX018(865)0158

さが医院 院長 **嵯峨 大介**
旧姓 山岸 (平成4年卒)
床50cmの浸水被害を受けましたが、一日の空白も作らず、透析患者さんのライフラインであり続けました。
〒010-0001
秋田県秋田市中通五丁目1-16
TEL 018-893-3511

いい暮らし、届けたい。
nices
株式会社 ナイス
代表取締役社長
齋藤 寛之
(平成4年卒)
本部：秋田市御所野湯本六丁目2番40号
TEL.018-892-6830

傘寿の会アゲイン

昭和35卒同期会

われらは昭和35年卒、あの戦争開戦前後に生まれ、秋高駅前校舎最後の卒業生でもある。よって歳^{よわい}82・83になった。われらの傘寿の会は、令和2年2月に開催案内を出し会場まで手配した。だが新型コロナウイルスが世界中に蔓延^{まんえん}し、国内の移動すら制限されるに至り、コロナ収束等の状況を見て再度案内することと中止。

令和5年、コロナの落ち着きを見て再会を望む声上がり、傘寿はとうに過ぎていたので、「傘寿の会アゲイン」とし開催案内を送付した。

コロナによる3年の空白は大きな痛手だった。会長の河村鴻允君らが逝去されたほか、前回は出席予定だったがその後、病等で出席できない友人も多くみられた。

会は令和5年9月23日、42名出席のもと、イヤタカで開催した。恩師は他界されたため、世話人代表である三浦捷也君の挨拶で始まり、乾杯の音頭は熊本市から駆け付けた板澤豊彦君が取った。出席者の近況報告の後、締めは神奈川から700kmドライブしてきた佐々木慎作君が行い、最後に「天上はるかに」を高らかに歌って互いの健康を祈り閉会した。

(高畑 重幸=昭和35卒 記)



記念DVDでタイムスリップ

北秋田支部総会

令和5年11月25日、北秋田支部総会が北秋田市鷹巣、ホテルニュー松尾 耕ホールにて柘植校長先生、佐藤同窓会事務局長をお迎えし、5年ぶりに開催された。

150周年記念祝賀式典の冒頭に上映された周年記念の太平山登山や雄物川強歩、人文字撮影の様子を収めたDVDを鑑賞。生徒らのはつらつとした行動に参加会員は現役時代にタイムスリップ。

奈良正人幹事長(昭和41卒)の開会の言葉を受け、秋元哲夫新支部長(昭和34卒)が挨拶、続いてご来賓の柘植校長先生にご挨拶をいただいた。

奈良幹事長が議長となり議事進行、役員改選も決議され懇親会に移る。数年ぶりの校歌斉唱、喉の通りもよくなったところで佐藤同窓会事務局長の乾杯のご発声で飲み方始め。150周年記念グッズ(150周年記念誌、新先蹤録、校章口ゴ入りタオルのセット)のお買い上げをお願いしたところ、瞬間に売れた。さすが、当支部会員の母校愛はすばらしいと感じ入った。森澤徳夫副支部長(昭和35卒)の閉会の言葉で会を締めくくった。

(事務局・佐々木 孝憲=昭和42卒 記)



つどい

TSUDOI

時間を忘れにぎやかに談笑

大館支部総会

令和5年12月18日、「北秋くらぶ」にて総勢12名により大館支部総会が開催されました。折からの悪天候にもかかわらず、本部から佐藤悦紹事務局長、柘植敏朗校長先生が駆けつけてくださいました。

佐藤茂範支部長(昭和41卒)の挨拶、そして伊藤碩彦支部顧問(昭和35卒)の乾杯の発声。コロナ禍を経ての4年ぶりの再会に、近況報告や思い出話に花が咲く中、母校150周年記念動画が上映されました。

柘植校長先生の生徒たちへの愛情あふれるナレーションに、参加者全員がしばし高校生に戻ったような楽しい時間を過ごさせていただきました。

その後もにぎやかな談笑の輪が広がり予定時間を大幅に超過しましたが、寺岡洋一副支部長(昭和43卒)の中締めで、来年の再会を期しての閉会となりました。

(幹事・鬼川 光洋=昭和52卒 記)



盛大に卒業10周年を祝う

平成26卒同期会

1月2日、秋田キャッスルホテルにて平成26年卒業生 卒業10周年記念同窓会が開催された。恩師にもたくさんご参加いただき、総勢100人を超える大所帯での開催になった。前日には能登半島地震が発生し、欠席を余儀なくされた同窓生もいたが、無事に開催でき幹事として安堵している。

会は倉田健太郎君の乾杯で始まった。高校時代の思い出話に笑ったり、社会で活躍する同期生に刺激を受けたりと話は尽きなかった。当時の学年主任 小松弘樹先生よりいただいた祝辞は、10年前を彷彿とさせる熱意に満ちており、皆真剣なまなざしで聞いていたのが印象的であった。時間はあっという間に経過し、最後は合谷木諒君に中締めをしていただいた。互いの活躍を祈念しつつ、再会を誓い合い散会した。

(丹波 佑介=平成26卒 記)



福島民友の中川社長が講演

汀友会（同窓会土崎支部）

汀友会（澤田石晶会長＝昭和46卒）の令和5年度定時総会が、11月24日、秋田市のポートタワー・セリオンで開催されました。あいにくの悪天候の中ではありませんでしたが、秋田県内を中心に31名が参加しました。

来賓として、銭谷会長、教頭の齊藤雅子先生がご出席。両氏は、学校創立150周年を迎えた感謝と喜びを語りながら、生徒の活躍等を紹介。新たな時代へ向けての決意を述べられました。

また、福島民友新聞社代表取締役社長の中川俊哉氏（昭和51卒）が、「新聞の使命」と題して講演。ネット上でフェイクニュースが飛び交う中、正確かつ的確な情報を発信する新聞の役割を力説。また、日本新聞協会が主催する新聞配達に関する2023年エッセーコンテストにおいて、秋田県から多くの入賞作品が選ばれたこと、小・中学生の学力の高さに言及し、世代を超えて活字に触れる機会の多い秋田の県民性を評価しました。

総会には、秋の叙勲において、旭日中綬章を受章した三浦廣巳氏（昭和44卒）も参加。参加者から改めて祝福の拍手が送られました。終了後は、記念のカメラに納まり、次回も元気に集うことを互いに約し合いました。



なお、令和6年度総会については、例年通り、11月に開催する方向で準備が進められています。
（事務長・高山 良一＝昭和53卒 記）

150周年記念行事のDVDに感動

にかほ支部総会

令和5年9月22日、にかほ市内の象潟さんねむ温泉で、にかほ支部の総会が4年ぶりに開催されました。この3年間に亡くなった会員に黙とうを捧げ、総会を執り行いました。母校からは柘植校長先生と佐藤事務局長を来賓にお迎えし、母校の近況について興味深いお話をいただきました。特に母校の150周年を記念する行事のDVDを視聴した時は、自分が参加しているかのように感動を覚えました。

参加者は9名ながら、久々の対面での開催に、各自が在籍していた当時の楽しい思い出やエピソードを語り合いました。さらにこの節目の年に軟式野球部が全国大会出場を果たしたニュースには多くの会員が感銘を受け、募金をさせていただきました。

楽しい懇親の時間はあっという間に過ぎ、最後は全員で記念撮影を行い、校歌を斉唱して締めくくりました。次回の開催



を心待ちにしながら、温かい気持ちで散会しました。来年もまた、楽しく意義深い時間を共有できることを願っています。
（今野 雄志＝昭和54卒 記）

150年史は完売!

横手支部総会

2月27日、横手市の松輿会館にて、柘植校長、中村順子同窓会副会長のご出席をいただき、横手支部の総会が行われた。地元会員に学校の先生、銀行関係、横手の事業所へお勤めの同窓生にも声をかけ、23名に参加いただいた。

高橋昭博支部長の挨拶に続いて、柘植校長に学校の現状についてお話をいただいた。途中、学校創立150周年の際に作成したDVDを視聴し、皆、はるか昔の高校生活を懐かしんでいた。続いて議事に移り2名の幹事交代を決議、支部の通帳の残高確認を行い総会を終了した。

懇親会は藤原辰夫副支部長の挨拶の後、中村同窓会副会長に同窓会の現状をお話いただいた。自身が関わられた150周年記念誌の宣伝も行われ、おかげで持参された記念誌は完売した。伏見悦子幹事の乾杯の挨拶で懇親会に入り、あちらこちらで高校時代を懐かしむ会話が聞こえていた。21時、皆で校友会歌を歌い、小浜丈夫幹事の締めの挨拶でお開きとなった。
（曾根 純之＝昭和54卒 記）



4年ぶりの「天上はるかに…」

近畿支部総会

コロナ禍を経て近畿支部総会・懇親会は、令和5年11月11日に大阪・天満橋の大阪キャッスルホテルにおいて銭谷眞美会長、柘植校長にご出席いただき、4年ぶりに開催された。

総会は鈴木信支部長（昭和42卒）開会挨拶、定例議題、および役員改選（藤田誠＝昭和47卒＝が新支部長に選出）と進み、最後に支部長から活動の総括と会員への感謝が述べられた。

総会の後、朝長睦子氏（昭和52卒）により「ヨガと健康」と題し実践を交えた講演があった。出席者はヨガの精神世界に触れ、腰痛・肩こりに効果がある運動を行った。

その後、県人会や秋田商業、本荘高校の支部長等の来賓を迎え懇親会に移行。冒頭、銭谷会長と柘植校長からご挨拶を賜り、創立150周年記念行事や事業、母校の近況をご紹介いただいた。萬田耕顧問（昭和28卒）の乾杯発声で開宴。各テーブルで談の輪が広がった。途中、四国から参加の千葉徹氏（昭和42卒）等7名の初参加の方々のスピーチで盛り上がった。最後は4年ぶりに全員で校歌・校友会歌



を斉唱し、母校へのエールで2時間余りの懇親会は中締めとなった。
（支部長・藤田 誠＝昭和47卒 記）

母校の活躍を祈念

県庁支部総会

3月7日、秋田市中通のパーティーギャラリーイヤタカで、県庁支部総会・懇親会を開催した。中村同窓会副会長、柘植校長をご来賓に迎え、安田浩幸教育長（昭和54卒）、猿田和三副知事（同57卒）、県議会の杉本俊比古議員（同45卒）、鈴木真実議員（同53卒）、北林文正議員（同54卒）、武内伸文議員（平成2卒）の顧問6名を含む総勢57名が参加し、総会では新支部長に高橋一也氏（昭和58卒）、副支部長に石川定人（同）、石黒道人（同）の両氏が選任された。

総会に続き懇親会が行われ、猿田顧問の挨拶、杉本顧問の乾杯の発声を皮切りに、中村副会長、安田顧問によるスピーチのほか、柘植校長からは創立150周年を記念した動画と併せて母校の現状についてご紹介いただいた。

最後は、近藤駿氏（平成24卒）のリードによる校歌斉唱とエールを行い、北林顧問の一丁締めでお開きとなった。



今年度は平成31卒の3名をはじめ若手の参加が多く、大いに盛り上がる宴となった。（藤原 慶一=平成23卒 記）

「新先蹤録」紹介、誇り新たに

秋田市役所羽城会

1月12日、秋田キャッスルホテルにて、133人が出席し総会を開催しました。来賓には柘植校長と佐野元彦同窓会副会長、佐藤同窓会事務局長をお迎えしたほか、顧問の柿崎武彦副市長（昭和52卒）、特別会員の市議会議員の皆さまなどにお越しいただきました。

初めに鈴木勉会長（昭和57卒）が挨拶で、当会OBである畠山茂氏（昭和43卒）が編纂等の委員長を務められた創立150周年記念の「新先蹤録—秋田高校を飛び立った俊英たち」を紹介し、出席者は、逸材を送り出してきた母校の伝統に改めて誇りを感じている様子でした。また、総会では役員選任も行われ、新会長に納谷信広氏（昭和58卒）を選出しました。

総会後の懇親会は、佐野副会長の乾杯のご発声で宴が始まり、終始にぎやかな雰囲気で行いました。過ぎる時間を惜しみつつも、最後は全員で校歌を斉唱し、渡辺正宏市議

会議員（昭和49卒）のご挨拶で中締めとなり、会は盛況のうちにお開きとなりました。（石塚 信康=昭和63卒 記）



3年ぶりの新入生歓迎会

大潟村支部総会

3月21日、サンルーラル大潟にて、第37回大潟村秋高同窓会ならびに、令和6年度新入生歓迎会を行いました。新入生歓迎会には柘植校長、佐藤同窓会事務局長をご来賓に迎え、新入生とその親御さん、地元会員の総勢25名での開催となりました。

総会では令和5年度決算、令和6年度事業計画と予算が承認されました。その中で、大潟村同窓会会員で彫刻家の鎌田俊夫先生（昭和38卒）の回顧展（令和6年11月3日から県立美術館で開催予定）に向けて、集まった同窓に支援を求める場面がありました。

総会に続き新入生歓迎会が行われ、山本宏会長（昭和48卒）、柘植校長の挨拶、鎌田俊夫先生の乾杯の発声で宴が始まりました。新入生の紹介と高校生活での抱負を聞き、秋田高校創立150周年記念に際して制作された映像の上映、続いて佐藤事務局長より高校の様子や同窓会の現状をお話していただきました。これから高校生になる子たちが真剣なまなざしで聞いていたのが印象的でした。最後は遠藤暁のリードで校歌を斉唱、薄田茂副会長（昭和48卒）の万歳三唱で

お開きとなりました。

新型コロナウイルス感染拡大の影響により3年ぶりとなった新入生歓迎会の宴は、大いに盛り上がりました。（遠藤 暁=平成2卒 記）



千葉豊明君の叙勲を祝う

昭和47卒同期会

2月10日、秋田キャッスルホテルにて、千葉豊明君の旭日双光章叙勲を祝う会を開催しました。長年、折あるごとに旧交を温めていたゴルフ仲間（秋高47会ゴルフ同好会）と飲み仲間ら、合わせて22名の同期生が集いました。

発起人の加藤俊介君の挨拶に続き、千葉君が挨拶。この中で千葉君は叙勲親授式が宮中の「豊明」殿（ほうめいでん）で行われたことを紹介しました。

宮中晩餐会や天皇誕生日の宴などで使用される由緒ある場所であり、くしくも自分の名前「豊明（とよあき）」と、読みは違えども同じ文字と気付き、恐悦至極！と感嘆。「70年前に名付けてくれた両親に心からの感謝の念を抱いた」とエピソードを紹介しました。

また今回の受章は長年にわたり歯科医師会の役員を務め、併せて学校医として地域保健活動を行ってきたことを評価していただいたものと思う、と感謝の言葉を述べました。

宴は、小玉弘之君（昭和47卒同期会会長）の乾杯でスタートし、お互いに近況を語り合いながら大いに盛り上がりました。

最後に石塚真人君が登壇して、千葉君の今後ますますの

ご活躍と参加者一同のご健勝を祈念して、一本締めを行いお開きとなりました。

（小松 文男=昭和47卒 記）





知の探究

総合的な探究の時間に行われている「知の探究」の令和5年度発表会が行われ、各学年の最優秀作品が決まった。

好奇心の大切さ

3年 山須田 優ゆう

私たちは「ぼうろの秘めた可能性」ゆりかごから幕場まで生涯ぼうろの生活」というテーマで研究を行いました。この研究は、私がぼうろの気持ちを切実に歌った東京ハイジさんの「ボウロのうた」という曲に心を打たれ、ぼうろに興味を持ったことをきっかけに、他の班員がぼうろの性質と現在の社会状況を照らし合わせ、さまざまな活用方法を考えたことから始まりました。

探究活動では研究の性質上、グループ内での意見交換が結論を決定づける最も重要な過程でした。調査を進め、話し合いを重ねるごとに、本来の研究の目的が曖昧になったときもありましたが、その度にみんなで根気強く意見交換を行い、ぼうろという一つの視点から社会をより広く捉えることができました。ぼうろの研究を「面白い」と言ってもらえたら世界を広げてくれたグループのみんなとの研究はとても楽しかったです。

今回の探究活動で得た知識や思考力を駆使して1つの目的に向かうという貴重な経験を今後十分に生かしていければと思います。班員はじめ、研究に協力してくださった方々に心より感謝申し上げます。



3年最優秀グループ発表の様子

「流行曲」と人間心理や世相

2年 今野 心麗みれい

インターネットの普及により、流行の寿命は極端に短くなり、「流行曲」を取り巻く環境の変化も目まぐるしいものとなっている。

私は以前から、流行と、その根源にある人間の心の動きとの関わりに興味があった。特に音楽における「流行」には、単に楽曲の良さや歌手の魅力だけでなく、世相や風俗、社会情勢なども関わっているのではないかと考えているのではないだろうか。そう考え、それを研究のテーマに据えることとした。

近年の年度ごとの流行曲をテンポや調、メロディーの構成音などの視点から分析したところ、コロナウイルスの蔓延や社会・景気の動向など、その時々々の社会の様子との関連が見て取れた。しかし、今回見いだせたものは、この問いに対する答えのほんの一部に過ぎない。いま実際に起こっている「流行」の変遷には、この研究で調査した要素とは全く異なるものも深く関わっているはずなのだ。

この探究活動から私は、一つの問いが持つ奥深さや、視点を変えるだけで見えるようになる世界の広さを知ることができた。安易に答えに飛びつかず「探究」を続けることがいかに大切なのかを感じることものできる機会だった。

流行曲の変遷とその背景

D 2年 今野心麗

①背景
「アイドル」(YOASOBI)の世界的、爆発的なヒットや、海外での日本のシティポップの流行、世界を巻き込んだK-POP人気、近年の邦楽の流行は世界規模で大きく動き、これまでにないような姿を見せている。これだけの動向のきっかけとなるのは何年なのか、注目される「流行曲の変遷の背景にはどのようなものがあるのか」という問いについて調べてみたいと思った。

②BPM BPMとは毎分、100〜140程度、120が標準。人間の心拍数に近いほどの心地の良いBPMであると言われている。成年の平均的な心拍数は60〜100であるため、本研究中に用いた曲のBPMはほぼこの範囲に設定されたものとなっている。

③2022,23年のヒット曲上位は、6曲すべてBPM150以上であった。 その一方で、**コロナ禍(2019年〜21年)**には遅いBPMの曲、さらには**遅いBPMの曲のランキングが多かった。**

近年のアップテンポな流行曲の背景には、TikTok等の短い動画プラットフォームや、動画配信サービスが普及する環境(下図)が関係していると考えられる。**【安心な環境下で音楽を聴く】**という環境がもたらしている。

逆に言えば、コロナ禍のスローテンポな流行曲は、ステイホームで時間に余裕があったこと、不安の多い状況の中で心の安寧を求めたことによるものと考えられる。

④コロナ後音楽 今回は1曲のサビを抽出し調査した。ランキングにおけるコロナ後音楽の出現回数に、**韻律性は高くなり、メロディは単純化された。** また、**力強く、リズム感がある曲は、力強く、リズム感がある曲(ジョン・カーター・カシディの「ハンドサイン」)**が、**コロナ後の流行曲には多く見られた。**(青色部)

短いニュースの多かった時期に明るい曲、勇気の出る曲が必要とされたのではないかと推察される。

⑤結論 近年の流行曲の調査から、**流行曲はその時代の社会情勢や世相に左右されている。** **コロナ後のイシューや状況が、流行曲の目まぐるしい変遷に寄与した。** **【タイムリーな音楽】**は、「曲を聴く」という行為にまで影響を及ぼしているといえることが考えられる。今後暫くは、テンポの速い曲の流行が続くかもしれない。

高みを目指して

吹奏楽部

吹奏楽部は、各種大会や、年2回の演奏会に向けて、日々活動しています。高いレベルでの文武両道を実現するため、限られた部活動の時間の中で最大限の効果を出すことを意識しています。

私たちは、部活動を行うにあたって、全員で目指す大きな目標を掲げています。全員でその目標に向かうため、部員一人ひとりが毎週の目標を定め音楽室内に掲示し、課題の解決に向けた練習を行っています。また、部活動の冒頭に全員で行う基礎トレーニングの時間を設けました。目標を明確にすることで練習効率が向上し、全員で活動する時間を作ることで、それぞれで偏りがちだった練習に対する意識を部内で統一しやすくなったと感じています。切り替えと集中を意識して行う短期集中型の練習は、コンクールで成果を出すだけでなく、その後の受験勉強にも役立つと考えています。



第23回ホワイトコンサートより (2023.12.23 アトリオン音楽ホール)

先日、第70回記念定期演奏会をおきた芸術劇場ミルハス大ホールで開催しました。本校吹奏楽部OBのチューバ奏者である柳生和太氏をゲストとしてお迎えし、盛況のうちに幕を閉じました。また、司会には本校出身のABS秋田放送の賀内隆弘アナウンサーをお迎えし、会場を盛り上げていただきました。12月にはホワイトコンサートを行います。これからも、伝統を受け継ぎながら、新たな形を創り上げていきたいと思っています。今後開催される演奏会にご来場いただき、私たちの活動の様子をご覧ください。

〔3年部長 山上陽香理〕

勝ちたい気持ちを抑えて勝つ

卓球部

卓球部は、「インターハイベスト8」を目標に、卓球の本質を理解しながら練習を日々に重ねて取り組んでいます。

全国レベルの選手に勝つためには点数を取る確率が最も高いプレーをし続けなければいけません。そのため、パワーやスピードの面で勝ちに行くのではなくコース取りや回転の緩急をうまく利用するプレースタイルで個性を生かす卓球をするようにしています。

昨年度は全県新人優勝や東北選抜4位、全国選抜出場など、たくさん成績を残すことが出来ました。しかし、全県総体で優勝することが出来ず、先輩方には悔しい思いをさせてしまいました。今年は勝ちたいという気持ちを抑えながら、どうすれば勝つことが出来るのかという内容をよく考えて後悔しないようにしたいです。また、監督やコーチ、応援してくださっている方々への感謝の気持ちを忘れず、頑張れる環境があることを当たり前と思わずに頑張っていきたいです。

〔3年主将 野村順成〕



全国高等学校選抜卓球大会にて (2024.3 山形県)

一般歯科・歯科口腔外科・小児歯科
追分歯科医院

副院長

奈良 宏周

NARA HIRONORI
(平成14年卒)

秋田市金足小泉字湯向3-2

018-873-5661

www.oiwakedc.com

oiwakedc@gmail.com

Norit Japon

代表取締役 菅原久典 (平成14年卒)
専務取締役 伊藤俊樹 (平成14年卒)
加賀谷大樹 (平成23年卒)
露崎藍 (平成23年卒)

ノリット・ジャポン株式会社
秋田市大町3丁目5-8 ウィング・グラン4F
TEL: 018-874-7547
E-mail: info@norit.jp



ジオテックコンサルタンツ株式会社
建設コンサルタント

〒010-1633 秋田市新屋島木町1-74
TEL 018-888-8533/FAX 018-828-3380

菅原崇人 (平成14年卒)

千秋パーク法律事務所
SENSYU PARK LAW OFFICE

弁護士

藤原美佐子

(平成4年卒)

〒010-0001
秋田県秋田市中通一丁目3番5号
秋田キャッスルホテル ホテルオフィス102号
TEL 050-3816-5846
FAX 050-3730-0656